

小美玉市の
文化・芸術 総合情報誌

おみた magazine

OMITA MAGAZINE



Omitama
きらりびと



アートと交わる
わたしがひかる

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第181号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL..0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みのり内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和6年7月25日発行

小美玉文化情報
日々発信中!

アピオス
みのり
コスモス
f f
@ @

■ 編集後記

木々の若葉もすっかり夏色の葉になりました。先日、常陸太田市にある薄葉沢という小さな沢にでかけてきました。川の流れ、滝の音、森の中に差し込む木れ日、沢筋の道、集落の庭先に咲くオダマキの花を五感で感じ、心癒される一日となりました。(赤上 恵)

■ みのんば編集局

編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸、橋本 笑優
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

文化ホールが地域と住民を

つなぐ



文化ホールの事業を展開していく上で意識している文化振興サイクル。文化ホールとの関わりが浅く遠いか、深く近いかで6つの層に分け、社会的機関として全住民にどうアプローチしていくかを考えています。

左：夢田 由美(笛の音楽隊ピッコロ)
中：前島 京子(team; ここから)
右：山本 純子(光と風のステージCueプロジェクトチーム)

撮影：赤上恵
取材：瀧澤比佐乃

前島 私は、十数年前からアピオス自主事業の企画・運営に関わるようになりました。多様なジャンルのアーティストを採用することで、できるだけ多くの方に観覧してもらえるような工夫を重ねています。皆さんはどのようなことを大切に活動されていますか？

山本 私も同じように、多くの方に音楽の美しさを味わってほしいと思っています。私自身も音楽を楽しみ、同時に企画・運営にかかわる面白さを感じながら活動しています。特に、若い音楽家の情熱と将来性を見出し、その魅力を小美玉の皆さんに紹介したいと思います。

夢田 コスモスでは、コスモスプロジェクトが中心となり自主事業を企画しています。最近ではコスモス30歳を記念し、リコーダーのワークショップに参加した住民と共にコンサートを企画

しました。間近で楽しんでもらうために、ロビーを演奏会場にするようなアイデアを出し合っています。リコーダーは学校でも手にする身近な楽器なので、特に子どもたちに楽しんでもらえるよう演出に工夫を凝らし、たくさんの人との交流が生まれることを楽しみにしています。

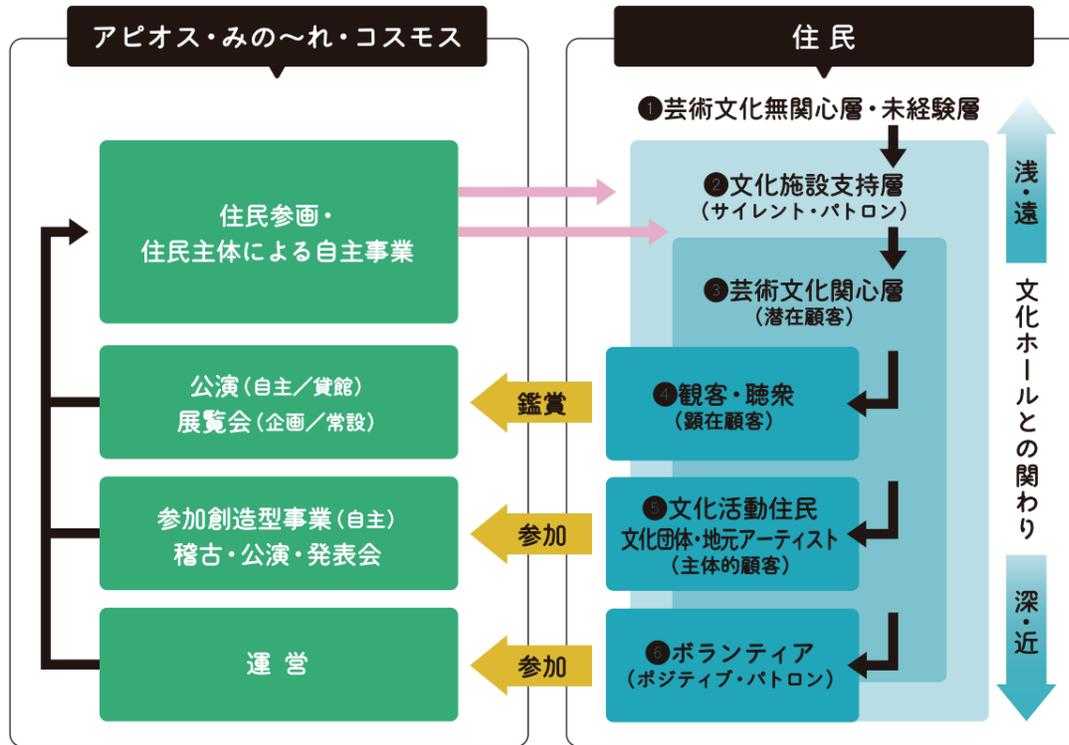
山本 たくさんの人との交流は、すばらしい体験ですね。公演終演後に演奏者とお客様、そして企画者である私たちが一緒に感動して「ありがとう！」と手を取り合う瞬間がとてうれしいです。

前島 そうですね。公演にはさまざまな立場の方が集いますが、会場全体で感動できたらうれしいですね。その

中でも、産みの苦しみを経て作品を創り上げた私たちの喜びや達成感は格別かもしれません！私たちのように文化ホールに積極的に深く関わる人、芸術文化に関心を持って支持してくれる人など、距離や深さはさまざまですが、多くの方に芸術文化に親しみを持ってもらえるように取り組んでいきたいですね。

山本 徐々に支持層・関心層に働きかけて、一緒に活動してくれる仲間も増やしていきたいです。私たちのチームでは、音楽が好きなお客さんあるいは音楽に興味がある方に積極的に声掛けをしてい

小美玉市の文化ホール3館が目指す、理想的な文化のサイクル



吉本光宏「市民・地域との新たな回路づくりから芸術を中核とした社会サービスへ」(雑誌 地域創造 2003 Spring vol.14)の図番をアレンジして作成



ます。まずは公演を観に来てもらい、楽しいライブの雰囲気を感じてもらいます。時にはステージ上で、アーティストがチームメンバー募集の声掛けをしてくれることもありますね。先日、うれしいことに、ある若い方が活動の趣旨に賛同し、活動に参加してくれるようになりました。若い方にも幅広く情報を発信しようとSNS投稿にも挑戦し、新たな仲間を求めて奮闘中です。

夢田 柔軟性は大切ですね。特に新しい仲間の発言が軽視されないよう、何でも取り入れる姿勢でいること。一つ一つのアイデアを丁寧に扱い、それを実現するにはどうしたらいいか、実現できない理由は何なのかを明らかにしていくことも大事なことだと思っています。まさに「対話の文化」ですね。おかげさまで、私はいろいろな年代の方と関わりが持てるようになりました。一時的なつながりで終わらず、人の輪が広がっていることも実感しています。この活動をしていなかったら、知り合えなかった人と出会える場が文化ホール

ならではですね。

山本 私も音楽を通してたくさんの人との出会いがあり、皆さんと臆せず話ができるようになりました。活動を知ったご近所の方に声を掛けられて、会話をする機会も増えました。この経験は、これからの町内会運営など、地域コミュニティづくりにもつながると思っています。

夢田 出会いと経験の機会を与えられるコスモスを、私は愛しています。「何らかの形で恩返しをしたい」「コスモスのために何かできないかな」と考えるようになりました。さらに地域やホールの特性を活かしながら、みんなが愛せる場にしていきたいです。

前島 自分たちの個性を活かしながら仲間と作品を共創することで、人の輪が広がっていくのが小美玉の文化ホール。今回の取材で改めて「アピオスが

好きなんだ」という気持ちに気づかされました。これからは文化活動に取り組んで生まれる喜びを感じながら、さらに主体的に参加参画していきたいです。

取材に立ち会って

住民参画・住民主体による文化活動は、成熟してきた半面、メンバーの高齢化やパターンに固執してきているなどの課題があります。次のステップに進もうとしている今こそ、対話の文化を私たちがしっかりと継承していきたいです。私は、中学二年生からみの〜れの自主事業に参画しています。若い世代を取り込むためにも、まずは興味を持ってもらうことが第一ですから、お客様に喜んでいただけるよう頑張りたいと思います。

みゆ〜じっく☆すた〜と 実行委員
平島 英太さん



つながり
つながり
つながり

01

家族の成長と共に
寄り添ってくれる大切な場所

コスモスは施設が充実しています。ホールは保育園の発表会で利用し、図書館や史料館では子どもの学習の後押しをしてもらいました。また、地域の方と交流を深めることもできる素敵な場所です。星の観察やファミリーコンサート、演劇などのイベントも家族で参加しました。楽しみながらいろいろと学べるので、生活を豊かにしてくれているなど感じています。娘たちがお世話になっている劇団では、子どもから大人まで、年齢の壁を超えて楽しくアットホームに活動しています。たくさんの方にコスモスにある施設やイベントを知ってもらおうと、さらに活気あふれる場所になってもらいたいと思います。

コスモス利用者 郡司 孝行さん



子どもたちに光を
当ててくれる
欠かせない場所

02

アビオスの大きな舞台上、本物の照明や音響を使って保育園の発表会をすることは、子どもたちにとってとても貴重な経験になります。また、キラキラと輝く子どもたちの姿を保護者の皆様に見ていただけることもとても嬉しく思っています。私にとってアビオスは、成人式で節目を華やかに飾ってもらった特別な場所でもあります。文化ホールのないまちに住んでいる友達の話を聞くと、私は環境に恵まれているんだと感じます。アビオスには、家族の誰かがイベントに参加したことがきっかけで家族全員が足を運ぶようになるような、子どもからお年寄りまで楽しめる文化ホールであってほしいと思います。

さくら第2保育園
織田 ひかるさん



つながり
つながり
つながり

特集

文化ホールが地域を

03

誰もが集える
新たなコミュニティを
創り続けている場所



小美玉の文化ホールは住民がそれぞれ成長できる機会を作ってくれていて、大人も子どもも、人として大切なことを学ぶ場所になっているように思います。ご近所付き合いが希薄になりつつある現代、文化ホールを拠点とした文化活動はコミュニティの新しい形をつくっていますね。小美玉の良さは、3つの文化ホールがそれぞれ特徴ある公演やイベントを開催していること。住民参加・参画の企画の数が多く、関わっている皆さんが楽しんでいることです。この50年でまちの文化がますます醸成されてきたことも感じています。さらに多くの人が集うホールになるためにも、これからもっと多種多様なジャンルの芸術文化に挑戦して欲しいです。

七福 長谷川 仁人さん



地域を

つなご
つなご
つなご

04

これまで、
そしてこれから
多くの地域の宝を
生む場所

「小美玉市が目指す文化のサイクル」は、3館が意識するマーケティングの考え方です。住民参画・住民主体の自主事業が、すべての住民と地域を結び、サードプレイスとしての存在価値を高めています。地域に住む住民からは、「文化ホール」がどのように見えているのか、どのようなことに期待しているのか、話を聞いてきました。

撮影：齋藤 友幸
取材：加藤 篤子
瀧澤 比佐乃
藤田 佐知子



美容室リアン 高井 美佳さん

CULTURE REPORT

2024年5月12日 / アピオス

team;ここからプレミアム劇場vol.08 夜喫茶おとばな

音とお話のユニット「おとばな」のステージは、始まりから観客を物語の中に引き込んでしまいました。「おとばな」が作り出すオリジナルストーリーと添えられる音楽、モチモチの木の朗読、誰もが知っている曲もあり、楽しい雰囲気の中でコンサートは終わりました。プレミアム席のお客様は、team;ここからのマダム京子との記念撮影後「次の企画も楽しみです」と話していました。(福島 ヤヨビ)



2024年5月19日 / コスモス

コスモス30歳記念 笛の音楽隊ピッコロロビーコンサート

コスモスを中心に20年以上活動を続ける「笛の音楽隊ピッコロ」によるロビーコンサート。笛の生演奏に合わせて、未来を担う子どもたちの手話やコスモス二十歳コーラス隊によるコラボ演奏などが披露され、来場客も一体となって、会場を盛り上げていました。7月に迎えるコスモス30歳へ向けて、ますます高まるお祝いムードを感じるコンサートとなりました。(コスモスプロジェクト 菊地 方美)



2024年6月29日 / 農村女性の家

チーム・アラカルト うたごえ喫茶 vol.29

みの〜れでの経験を基に地域における音楽企画をプロデュースしている「チーム・アラカルト」による歌声喫茶が、コロナ禍を乗り越え4年ぶりに開催されました。久々あって、お客様から次々とリクエストが集まり、流しのでっちゃんのギターに合わせて軽やかな歌声が響き渡りました。仲間とともにマイクに向かって歌うと、自然と笑みがこぼれ、会場は温かい雰囲気に包まれました。(福島 ヤヨビ)



2024年5月18日 / みの〜れ

光と風のステージCue vol.73 JAZZ NIGHT

日中は初夏の陽気だった夕暮れ、これから来る夏を待つようなジャズコンサートが幕を開けました。愛田美樹さんの素敵な歌声、ギターの手田よしおさんとクラリネットの山本太郎さんによる軽妙な掛け合いに、会場からの笑い声も沸き起こる楽しいひと時でした。地元のホットドッグ店STANDOGも初出店し、光と風のステージCueの新たな幕開けを感じる夜でした。(遠藤 雅樹)



2024年6月2日 / アピオス

日米親善コンサート in 小美玉

国境を越えた音楽親善大使として、国際交流を目的に演奏活動を行っているパシフィック・ショーケースのコンサートが開催され、迫力のある演奏を聞かせてくれました。日本の曲の演奏もあり、お客様は手拍子を取り、会場は大いに盛り上がりました。終演後のロビーでは、見送りに来た隊員たちと一緒に写真を撮るお客様で溢れかえり、いつまでも賑わっていました。(加藤 篤子)



2024年6月30日 / アピオス

アピオスばるず15歳記念イベント ばるずのばるばるーざ!!

アピオスの公演スタッフボランティア「アピオスばるず」が15歳を迎え、記念イベントが行われました。セレモニーでは、マラカスを作るワークショップに参加した子どもたちと一緒にハッピーバースデーを奏でるシーンもあり、笑顔あふれる誕生パーティーとなりました。アピオスばるずは現在、新規会員を募集中です。興味がある方は、ぜひお申込みください!(アピオスばるず 前島 京子)



INFORMATION

清元節×付け打ちによるワークショップラボ ツワモノツアー



- 日時 8月27日(火) 13:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 金額 一般:3,000円
高校生:1,000円
小中学生:500円
未就学児:無料
- 出演 清元 斎寿、山崎 徹、長須 与佳(ゲスト)

日本の伝統芸能をもっと身近に! 伝統芸能をあらゆる角度から紹介する体験型ワークショップです。

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

光と風のステージCue vol.75 オカリナ 生命の調べ



- 日時 9月21日(土) 19:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 金額 1,000円(1ドリンク付)
- 出演 野口喜広 ほか3名

9月の光と風のステージCueはオカリナ・キーボード・ギター・パーカッションによるコンサートを開催します。土曜日の夜はみの〜れでドリンク片手に音楽を楽しみませんか。

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

おとのワンダフル音楽会 part.2



- 日時 10月5日(土) 13:30
- 会場 アピオス特設中劇場
- 金額 1,500円※応援グッズ付き
- 全席自由

team;ここからプロデュース企画。出演はCanto_Oriente(カントオリエンテ)。彼らが講師を務めたワークショップ参加者もステージに登場!ここから、おとのわが広がる。

■発売開始 8月4日(日)10:00〜 / 0299-58-0921 (アピオス)

みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu わたしとおばけのケーキ屋さん



- 日時 10/5(土)、6(日)14:00
- 会場 みの〜れ森のホール
- 金額 高校生以上:1,000円
中学生以下:500円
- 未就学児入場不可
- 全席指定

ケーキが大好きな少女が突然迷い込んだおばけの世界で、出会いと衝突を繰り返しながら二つの世界を変えていく、愛と友情の異世界ファンタジー。

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

2024年 8月〜10月のイベント pick up

※このスケジュールは2024年6月29日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
8月4日(日)	夏休み親子体験講座「親子和太鼓講座」	10:00	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	無料
8月17日(土)	和太鼓体験ワークショップ	10:00	みの〜れ風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	500円
8月24日(土) 8月25日(日)	アピオス小劇場vol.49 アピオスtoいっしょ「あしたえがおになあれ!」	10:30/14:30 10:30/14:30	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	高校生以上:1,000円 中学生:500円 小学生以下:無料
9月1日(日)	みゅ〜じっく☆すた〜と	10:30 14:00	みの〜れ森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	高校生以上:500円 中学生以下:無料
9月8日(日)	演劇CrewCosmo's公演「シンデレラ」	13:30/16:30	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	無料 (要整理券)
9月13日(金) 9月14日(土)	ばどコレ いきたい! BIRDぬり絵コレクション&ワークショップ	10:30	みの〜れ風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (一部有料)
10月5日(土)	おとのワンダフル音楽会 part.2	13:30	アピオス大ホール	アピオス 0299-58-0921	1,500円
10月5日(土) 10月6日(日)	演劇ファミリーMyu新作ミュージカル 「私とおばけのケーキ屋さん」	14:00 14:00	みの〜れ森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	高校生以上:1,000円 中学生以下:500円
10月6日(日)	コスモス30歳記念イベント	9:00	コスモス・民家園	コスモス 0299-26-9111	無料 (物販あり)